◇人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり

▽社会の最も重要な資本である人づくりに力を入れた施策が必要では。

○まちづくりの基本は人づくりという観点に立ち、市民と行政が一体となって着実に取り組みを進めていく必要があります。計画では生涯を通じた学びの機会の提供などを盛り込み、市民が学びの喜びを感じるための施策を推進したいと考えています。

◇人と情報が活発に行き交うふれあいと連携のまちづくり

▽合併して市域が広がり、市の中心部に行くのに時間がかかる。道路網の整備を進めてほしい。

○新市の一体感醸成のためにも道路ネットワークは重要と考えており、計画でも幹線道路の整備促進、生活道路の拡充整備を盛り込んでいます。国、県道などの幹線道路の整備については、国県などへの働きかけを計画に位置付けており、今後も強く働きかけてまいります。

▽バス運行について、ワゴン車などにより住民の要望に応じて柔軟に運行すれば経費の節減や利用の向上につながると思うが。

○市営バスについては利用者の拡大を図りながら、採算性の確保に努めるとともに、今後地域交通のあり方について検討を行っていくこととしています。

◇水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり

▽環境問題に対応するための市の取り組みは。各家庭での目標値を設定しては。

○「循環型社会の実現」として温暖化対策などを盛り込んでいます。また、今後環境に関する計画を策定する中で、市や市民の責務などを含めた具体的な取り組みを定め、進めていくこととしています。

◇計画の推進

▽審議会委員への公募委員の選出など、意欲ある人がまちづくりに参加できるよう、門戸を広げて欲しい。

○まちづくりを進めるにあたっては、幅広い市民の意向をより市政に反映させる仕組みづくりが必要であると考えているところであり、各種審議会などへの市民の参画、まちづくりスタッフバンクの活用などを進め、より広い市民の参画に努めます。

部門別計画案

◇教育振興基本計画

▽子どもたちの成長に大切な「地域の教育力」の項目を設けてほしい。

○地域の教育力は大事なテーマととらえ、計画では「地域社会の教育力の充実」の項目を盛り込み、施策を推進することとしています。

▽社会教育設備の充実が盛り込まれているが、公民館の予算・人員の削減はないのか。

○公民館が地域の社会教育に果たす役割は大きいと認識しており、機能の低下とならないよう施策を推進してまいります。

◇行政改革大綱・集中改革プラン

▽新市の財政見通しはどうなっているのか。

○市の財政は、今後5年間で45億円の財源不足が生じるなど、厳しい状況にあります。このため、行政改革により市税の収納率向上や人件費の削減などを着実に進めたいと考えています。

▽指定管理者を導入した場合、現在窓口業務を行っている支所はどのような形になるのか。

○公の施設については、貸し館のみのものから事業を行っているもの、専門的な業務を担っているものなどさまざまなことから、これらを整理した上で適切な管理運営のあり方を検討していくこととしています。

▽バランスシートを作成し、公表してほしい。

◇男女共同参画プラン

▽男女共同参画社会を実現するための具体的な取り組みをどう考えているのか。

○男女共同参画社会の実現には、市民の意識啓発がまず重要ととらえています。そのためには行政と市民との共通理解の下、行動目標や取り組みのあり方を示すプランを策定することが必要です。策定後はこのプランを指針として、市民と一体となり男女共同参画社会実現を目指します。

パブリックコメント

11月1日から17日までの期間パブリックコメントの募集を行い、計画案について12人から54件の意見が寄せられました。

その概要は次のとおりです。

◇全般…▽我慢すべきは我慢し、将来に向けて夢が持てる施策を▽市外から収入を得る方策を

◇農林水産業…▽一関市独自の農林業の戦略会議の設置を▽農業の永続性の確立と活性化への対策を▽クラインガルテン(市民農園)への取り組みを▽森林の担い手育成を

◇地域福祉…▽障害者自立支援法の施行により負担増となった市民への支援策を▽「地域で支えあう」ため市が市民に期待することをマニュアルにして全戸配布を

◇教育…▽「生涯学習」の記述を「生涯教育」に▽図書館のリニューアルを▽奨学金制度の充実を

◇道路…▽道路ネットワークの整備を▽道路改良整備(複数)

◇公共交通…▽バス停留所付近の整備を▽一ノ関駅前駐車場の30分以内無料化を▽スクールバスの多様な活用を

◇地域情報化…▽ラジオ難聴地域解消のための施設整備を▽携帯電話通話エリアの拡大を▽高速インターネットや地上デジタルテレビなど情報基盤の地域格差是正を

◇地域づくり…▽各地域の文化やスポーツ活動の活性化を

◇行政体制…▽土曜・日曜にも市役所窓口業務を

◇男女共同参画…▽女性センターや公民館に男女共同参画推進委員設置を

第57回一関地方産業まつり 特産・名産品一堂に

連日たくさんの人が訪れた商工祭(上)

一関地域では初お目見え。化粧まわしも華やかに、横綱土俵入りを披露する愛宕花相撲の皆さん(下)

商工祭

商工祭は10月27日から29日までの3日間、一関文化センター体育館を会場に催されました。

会場には、市内はもとより岩手県南、宮城県北の特産品がズラリ。姉妹都市福島県三春町、友好都市気仙沼市の物産と観光のコーナーも設けられました。また、白浜神楽(花泉町)や愛宕花相撲(千厩町)などのイベントも行われてにぎわいを見せる中、訪れた人は出店者と盛んにやりとりしながら、お目当ての品を買い求めていました。

農業祭

農業祭は11月4、5の両日、総合体育館前広場を会場に催されました。会場には新鮮な農産物や加工食品、植木、食堂などのテントが立ち並び、「いらっしゃい!」の掛け声が盛んに飛び交っていました。併せて行われた「岩手南牛まつり」では、焼肉コーナーや牛の写生会なども行われました。また、特設ステージでは牛の鳴きまねコンテスト、丸太切り大会、牛乳早飲み王選手権などの楽しいイベントも行われ、親子連れなどの大勢の人が、さわやかな秋晴れの下、まつりを楽しんでいました。

元気な「モー!」の声に会場が沸いた鳴きまねコンテスト(上)

新鮮な農産品を取りそろえ、大勢の人でにぎわった青空市(右)

磐清水・奥玉・小梨簡易水道事業 再評価により事業継続を決定

市民が健康で文化的な生活を営む上で必要不可欠な水道。

そのうち簡易水道整備は国の補助を受けながら長期計画の中で進めていますが、市では事業の効率的な執行やその実施過程の透明性の向上を図るため、事業採択前の事業を対象に事前評価を、事業採択後は5年ごとに再評価を行うこととしています。

このたび、磐清水・奥玉・小梨簡易水道事業が着手後10年を経過したことから、2回目の再評価を行いました。評価の結果と対応の内容は次のとおりです。

○評価の結果

①本事業は計画的に進捗しており、地区においても水道の早期整備の期待は高い。今後新たな技術による総合的なコストの低減を考慮しながら、水道未普及地域の解消を図ることは意義がある。

②簡易水道施設を建設、維持管理するとして算定した費用(C)は109億400万円、これに対し井戸を建設、維持管理するとして算定した便益(B)は262億9500万円で、費用に対する便益の効果を示す費用便益比(B/C)は2・41

※この数値が1以上の場合、事業が有効と判断されます

○結果に基づく対応

事業の継続

この評価について、学識経験者など第三者からの意見を聞くため、簡易水道施設整備事業評価委員会(委員長・佐野茂一関高専教授、委員・高橋秀子修紅短大助教授、同・片岡淳さん=まちづくりスタッフバンク=)を10月23日に開催しました。

各委員からは「水源水質に問題はないか」「利用促進を図るべき」「水道、下水道施設は早急に整備すべき」「施設が分散しているが管理はどのように行っているのか」「学校などは優先的に整備を」「使用料はどのようになっているか」などの質問や意見が出され、最後に委員長より「磐清水・奥玉・小梨簡易水道事業の評価は妥当」との集約意見がありました。

簡易水道施設整備済み区域内にお住まいの皆さんには、積極的に簡易水道を利用いただくようお願いします。

◎問い合わせ先
本庁簡易水道課工務係
☎㉑8572